

平成28年度第6期川崎区区民会議

第6回だれもが住みたいまちをつくる部会摘録

日時：平成29年1月31日（火）午後6時30分

場所：川崎区役所7階会議室

出席者（敬称略）

委員 9名

新井トキ子、江守千恵子、須山令子、高橋順子、知念ジョアンナ、能條重信、
朴昌浩、原千代子、森脇卓郎

欠席 峯尾照

傍聴 0人

（進行：町田企画課長）

1 開会

- 委員の出欠の確認
- 会議の公開、会議録の開示、会議の記録、広報としての写真撮影等の説明、傍聴者の確認
- 配布資料の確認

（進行：原部会長）

2 議題

（1）審議課題について（資料1）

審議課題について、「資料1：審議課題について」を用いて、事務局が説明を行った。

審議課題について、意見・コメントは以下のとおり。

<審議テーマ1：地域による見守り活動の推進>

原部会長 前回、見守り活動の推進のために作成するマップについての方向性のご意見が出ました。支援活動をしている方たちに向けたマップということで、本日、森脇委員から資料を持ってきていただきましたので、ご説明をよろしくお願ひします。

森脇委員 第5期区民会議でパンフレットを作成しましたが、そのパンフレットの第2弾ということで作成してはどうかと考えています。パンフレットの

ないよう だい きくみんかいぎ さくせい ばんふれっと どうよう みまも
内容として、第5期区民会議で作成したパンフレットと同様に「見守
り活動の事例」を3つほど掲載してはどうかと考えています。(1～2ページ)

3つというのは、中央地区、大師地区、田島地区の3地区からそれぞれ1つ
の事例を取り上げて、中央地区では渡田地区町内会、大師地区では池上新町の
事例を掲載してはどうかと思います。

もう1つは、前回から議論になっている「見守りマップの作成」について掲載
し、マップの方向性については、前回言ったように見守り活動をする方が活用
できるマップ作成する提案を考えています。パンフレットには、マップの主旨
や目的を整理して、作成の方法の手順などを解説することを想定しています。

(3～4ページ)

そのような内容のパンフレットを作成し、見守り活動をしている方たちを
区民会議が支援していく形で、見守り活動をしている団体に向けて啓発・広報
をしていくイメージです。

原部会長 区民会議として見守り活動を行っている方を支援するためのマップ
作成の手順を、アナウンスするということはいいと思いますが、作成の手順を
ブラッシュアップするためにも、部会のメンバーでワークショップ的に作って
みるということが必要かもしれません。

森脇委員 マップの範囲として想定されるのは、見守り活動を行っている方の
それぞれの自身の地域のため、モデル地区を選定することはなかなか難しい
と思います。区民会議委員が、自分が見守り活動をやっている支援者になった
つもりで、ワークショップをやっていくことはいいと思います。

原部会長 ワークショップをやることで、作成の手順の中での新たな気付きが
あると思います。委員の中にも見守り活動をやっている峯尾委員や高橋委員も
いらっしゃるので、皆様の知識や経験も活かしながら支援者の視点でどのよう
なマップにしていくかを考えていけるとと思います。

高橋委員 マップの対象者は、見守り活動をしている町内会関係者、民生委員、
老人クラブとのことですが、それぞれの立場によっても必要とされる視点が異
なると思うので、整理していく必要があります。

森脇委員 そうです。それぞれの立場でマップに落とす情報なども変わってく

おも
ると思うので、^{くみんかいぎ}区民会議としては、^{まっぶ}マップづくりの^{れいじ}例示として^{さまざま}様々な^{してん}視点を持
ちながら、^{さくせい}作成の^{ていあん}提案をしていかないといけないと思います。

あらい と いいん みまも かつどう じれい
新井（ト）委員 見守り活動の事例については、^{ぜんかい}前回と同じような^{いめーじ}イメージでし
ようか。

もりわきいいん
森脇委員 そうです。^{だい}第5期で^{じっし}実施した^{あんけーと}アンケート調査も^ふ踏まえながら、^{みまも}見守り
活動の事例を選定して、^{かんけいしゃ}関係者に^{ひありんぐ}ヒアリングをして^{いめーじ}まとめていくイメージです。

あらい と いいん ふくし
新井（ト）委員 福祉まつりでも見守り活動の事例を取り上げているので^{さんこう}参考に
なるかもしれません。^{ちく}3つの^わ地区に^わきれいに^{げんざいかつどう}分けなくても、^{さか}現在活動が盛んな
事例を取り上げることで^いもいいと思います。

ばくいん じれい
朴委員 事例については、^{ちく}地区で^わ分けるのではなく、^{ちょうないかい}町内会、^{じちかい}自治会、^{ろうじんくらぶ}老人クラブ
というように^{だんたいべつ}団体別に^わ分けてもいいかもしれません。

はらぶかいちよう じれいせんてい
原部会長 事例選定をどこにするかは^お追って^{けんとう}検討していくとして、^{くみんかいぎ}区民会議は今
まで^{けいぞくせい}継続性という^{てん}点で^{かだい}課題がありました^{ばんふれつ}が、^{だい}パンフレットの^{だん}第2弾ということ
であれば、^{けいぞくせい}継続性もあるし、^{あた}新しい^{してん}視点も^と取り入れられるし、^いとてもいいと思
います。

^{まっぶ}マップの^{さくせい}作成を^{しえんしゃ}支援者に向けて^む提案する^{ていあん}上では、^{うえ}やはり^{いちどぶかいめんばー}一度部会メンバーで
^{わーくしょっぶてき}ワークショップ的に^{まっぶ}マップ^{さくせい}作成を^{ひつよう}してみる^い必要がある^{おも}と思います。

ばくいん
朴委員 もう1つの^{ぶかい}部会にも^{みまも}見守り^{かつどう}活動を^{けいけんしゃ}やっていた^い経験者が^{いらっしやるの}で、この^{ぶかいめんばー}部会メンバー^{さんか}だけでなく、^よ参加を^よ呼び掛けて^{みて}は^いいかが^でしょうか。

はらぶかいちよう
原部会長 それもいいと思います。^{わーくしょっぶ}ワークショップは^{おおにんずう}あまり^お大人^お数で^お1つの
^{まっぶ}マップを^{かこ}囲むのも^{おも}やりづら^おいと^た思うので、^た例えば、^{けいけん}経験のある^{みねおいいん}峯尾委員と^{たかはし}高橋
委員の^{いん}それぞれの^{ちいき}地域で^{ぐるーぶ}グループに^わ分かれて^{いけんこうかん}意見交換^いしていく^いことが^いいいか
もしれません。^{わーくしょっぶ}ワークショップは、^{まっぶ}あくまで^{つく}マップ^{つく}を作る^{もくてき}ことが^い目的^いではなく、
こういった^{まっぶ}マップ^{つく}を作る^い際には、^{してん}こういった^{つく}視点^いで作^いって^いければ^いいいか^いという
ことを、^{しえんしゃ}支援者の^{してん}視点^たに^い立^いって^い意見^だを出^いし^い合^いって^いく^いイメージ^いです。^{けいけんしゃ}経験者の
^{かた}方は、^{さまざま}様々な^{じれい}事例^しを知^{おも}っている^いと思うので、^{じれい}その^い事例^ふを^{まっぶ}踏^ままえ^まながら^{まっぶ}マップ
^{さくせい}作成^{してん}のための^だ視点^いを出^{おも}して^いもら^いう^いこと^いも^いでき^いる^いと思^いいます。

江守委員 ワークショップの場で言った方がいいかもしれませんが、例えば、
公衆電話やAEDの場所なども、見守り活動を行う上で把握しておくべきもの
なので、マッピングした方がいいかもしれません。

新井（ト）委員 個人情報の問題は大丈夫でしょうか。

森脇委員 あくまでも見守る側が見守り活動に活用できるマップなので、公に
するわけでもないし、支援者がご自身だけで使うマップですので、大丈夫だと
思います。

原部会長 とりあえずマップ作成のための作る手順などの視点を意見交換する
ワークショップはやりたいと思います。まずは内容の整理をしていきたいと思
います。

森脇委員 ワークショップを実施する前の準備として、まずは机上で、マップ
作成の主旨や目的、作成方法の大まかな流れやマップにどういった情報を
掲載していくかの骨組みの整理を行う必要があります。その答え合わせや抜
けている視点を確認することをワークショップでやっていけばいいと思いま
す。

原部会長 本日、以前見本のマップを出していただいた峯尾委員が欠席のため、
次回3月の部会では、峯尾委員に作成の手順等を聞きながら内容を詰めていき
たいと思います。ワークショップの実施は4月以降になるとと思いますが、皆さ
んよろしくお願ひします。
事例の選定については、峯尾委員や高橋委員が関係している池上新町は取
り上げるということでもいいでしょうか。

高橋委員 いいです。一応、浦野委員が町内会長ですが、ヒアリングに向けて
段取りを進めてもらえればと思います。

<審議テーマ2：子育て支援の充実>

原部会長 続いて「審議テーマ2：子育て支援の充実」について議論したいと
思います。以前から懸案事項である子育て支援団体同士の情報交換会につい

てですが、現在までで大師地区で2回開催しました。事務局は区民会議がやり
ましたが、いずれは地域で担っていくことが重要であり、その事務局機能な
どのことがあり、現在はなかなか前に進められていない状況です。

新井（ト）委員 事務局機能をどこが担うか非常に難しいと思います。以前は
こども文化センターが担ってはどうかということも議論しましたが、こども
支援室が無くなるなど行政の体制も色々と動きがある中ではなかなか担い手
が見つからないと思います。

原部会長 もし、行政の方で担うとしたら、どこの所管になりますでしょうか。

事務局 おそらく地域見守り支援センターだと思いますが、どこも様々な業務を
抱えていて、お願いできかねる状況です。

新井（ト）委員 やはり地域で担っていくしかないと思いますが、なかなか難し
い気がします。地域教育会議に担っていただく考え方もあります。

森脇委員 田島地区は、夏と冬にやっている活動で、その実行委員会ができてお
り、情報交換会をやらなくてもいい足場ができています。大師地区は2回開催
したので、あと一歩というところですが、会の開催は年1回程度なので、事務局
という大げさなものではなく、どこが音頭を取るかという部分だと思います。

原部会長 情報交換会については、継続課題としたいと思います。家庭教育へ
の取組についても今後検討していきたいと思います。

<審議テーマ3：外国人市民も住みやすいまちづくり>

原部会長 外国人向けの相談窓口の利用促進のための広報として、本日チラシ的
な資料をお持ちしました。こういった内容のわかりやすいチラシを多言語化し
て、外国人が集まっている団体等に向けて配布・広報していく仕組みづくりが
大切だと思います。

また、このチラシ作成に合わせて、外国人の生の声を聞くということで、
ヒアリングのような形で、外国人の方に生活していて困っていることやまち
づくりの課題などを聞く場を4月以降に設けられれば良いと考えています。

第5期から実施している外国人市民向けの防災フォーラムは定期的に開催

しており、徐々に外国人市民とのつながりの土台はできているので、活用できればと思っています。

知念委員 シンプルで、チラシはとても分かりやすいと思います。やはり冊子はわかりにくいです。

朴委員 チラシについては、小中学校にも日本語が上手く話せなくて困っている子どもや家庭が多くいるので、配布だけでなく、学校の掲示板に貼らせてもらったりするといいと思います。

森脇委員 やはりチラシという形が一番活用しやすいと思います。民生委員などにも配布をして持ってもらっていただければ、いざという時に、外国人の方に相談窓口を紹介できます。

また、内容を見て思ったのですが、ふれあい館は言語の限定はないのでしょうか。

原部会長 現状はよろず相談的になってしまっているのが正直なところでは、わかりやすいチラシを作成する方向で、内容の精査やレイアウト、多言語化については、今後検討していきたいと思っています。

(2) 区民会議フォーラム(案)について(資料2)

区民会議フォーラム(案)について、「資料2：平成28年度第6期川崎区区民会議フォーラム実施概要(案)」を用いて、事務局が説明を行った。
区民会議フォーラム(案)について、意見・コメントは出なかった。

(3) 第6期川崎区区民会議中間報告書(素案)について(資料3)

第6期川崎区区民会議中間報告書(素案)について、「資料3：第6期川崎区区民会議中間報告書(素案)」を用いて、事務局が説明を行った。
第6期川崎区区民会議中間報告書(素案)について、意見・コメントは出なかった。

(4) 審議スケジュールについて(資料4)

審議スケジュールについて、「資料4：審議スケジュールについて」を用いて、事務局が説明を行った。

しんぎ すけじゅーる について、いけん・こめんと で
審議スケジュールについて、意見・コメントは出なかった。

3 その他

- ・ 第3回の全体会議は2月17日（金）に開催する。
- ・ 第7回の専門部会は3月7日（火）に開催予定である。

やまぐちふくくちょう
(山口副区長)

ほんじつ ねっしん ぎろん こんご しんぎ ほう
本日は熱心にご議論いただきありがとうございます。今後とも審議の方、どうぞよろしくおねがひします。

へいかいせんげん
■閉会宣言

ごご じ ふんへいかい
午後8時30分閉会

いじょう
(以上)